訪問看護ステーションてとて　　大場祐子

日々勉強です

看護師になり２０年以上経ちます。ずっとやりたかった訪問看護の道へと３年前に進みました。最初に感じたことは、【病院だったらな】と考えることが多かったです。基本、一人で訪問するため、その場での判断が求められます。病院だと、すぐに他のスタッフへ相談でき駆け付けてもらえます。誰かがすぐ来てくれるという安心感があったと改めて思いました。その反面、在宅は思っていた以上に大変なことが多く、想像しないアクシデントなど様々な出来事が起きるので、緊張感が半端ないです。看護師としての年数は関係なく、責任という重圧を常に感じています。しかしながら病院、在宅それぞれの良さもあれば、そうでないこともあります。今は在宅の良さや、もっとできることがあるのではないかと考えることも多くなり、訪問看護をしていなければ得られないことも多かったと思います。働く場所が違っても、これからもその方に合った看護を提供していきたいと思います。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 返信転送 |